

「Q-1～U-18 が未来を変える★研究発表 SHOW～」  
2024年度 第55回 科学放送高柳賞 最優秀賞を受賞

朝日放送テレビ制作の番組「Q-1～U-18 が未来を変える★研究発表 SHOW～」(2023年9月24日放送)が、2024年度 第55回 科学放送高柳賞 最優秀賞を受賞しました。

科学放送高柳賞は、科学技術の振興とその知識の向上に役立つ優れた科学放送番組を奨励し、番組内容の向上に寄与することを目的とした賞です。

「Q-1～U-18 が未来を変える★研究発表 SHOW～」

2023年9月24日放送 15:20～16:55



【内容】

U-18 たちが頭脳を武器に戦う本気の研究発表会が『Q-1』だ。それぞれ9分間のプレゼンテーションにまとめて研究発表し、競い合う、まさに“知の甲子園”が誕生！大会で最も「未来・世界を変える探究」を発表した高校生が“最優秀イノベーター”として表彰される。2023年大会は、全国23都府県から87チームがエントリーした。厳しい審査をくぐり抜け勝ち残った4校が、7月16日にお台場・日本科学未来館という、晴れの舞台上で熱いプレゼンバトルを繰り広げた。

MCを務めたのは林修と澤田有也佳アナの2人。スタジオ審査員には前年に引き続き、Google for Education マーケティング統括部長や京大前総長、2025年大阪・関西万博プロデューサーなど各界の有識者たちが登場し、高校生たちと真剣に向き合った。

出場校は、広島県立広島国泰寺高等学校(広島県)、筑陽学園高等学校(福岡県)、広尾学園高等学校(東京都)、灘高等学校(兵庫県)の4校。1組目の広島国泰寺高等学校は、3年生4名が1チームとなり出場。地元・広島の特産品である「大野あさり」を海洋マイクロプラスチックゴミの環境問題から守りたいと「あさりのマイクロプラスチック排出の解明」をテーマに発表した。2組目は、筑陽学園高等学校3年生の春山夏菜絵さん。自身の体験に基づいて開発したという「ADHD グレーゾーン」の人々を手助けするアプリについてプレゼン。3組目には広尾学園高等学校の梶原由圭さんが登壇し、「多視点アート」という複数の視点から見るとそれぞれ違う形が見える立体について研究し、3D モデルから考察した多視点アート作品を発表した。最後は、灘高等学校 2 年生の中洋貴さん。中学生の時に iPad の図形制作アプリを使って遊んでいる時に発見したという、数学界を驚かせる“新たな定理”を証明する探究を発表してみせた。

最優秀イノベーターに輝いたのは？また番組では大会後も引き続き4校を追いかけて密着取材！予選から決勝まで、それから大会後…高校生活を探究にかけた U-18 たちの熱き青春物語をお届けした。

【スタッフ】

プロデューサー … 栗山 哲治、平田 翔子、大橋 洋平、安井 一成、青山 速己、綿部 裕基

演出 … 管沼 誠

構成 … 成子 貴也

第 55 回 科学放送高柳賞 最優秀賞 受賞記念

受賞した 2023 年放送の「Q-1」を期間限定で TVer 配信！（2 月末まで）

URL：<https://tver.jp/series/sr0i36r0u2>